

FD担当者のためのFD企画講座

吉田博(徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 准教授)

仲道雅輝(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 副室長 准教授)

塩川奈々美(徳島大学 高等教育研究センター 教育の質保証支援室 助教)

上月翔太(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 特任助教)

講師略歴

【吉田博】愛媛大学理学部数理科学科卒業。同大学院理工学研究科数理科学専攻博士前期課程修了。2009年度から徳島大学で全学FDプログラムの企画・運営に携わる。また、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)のFD担当として、SPOD-FDプログラムの企画立案、調査研究に携わる。主な著書に、『学習評価(シリーズ大学の教授法4)』(分担執筆)、『アクティブラーニングの活用(看護教育実践シリーズ4)』(分担執筆)などがある。

日本高等教育開発協会理事、大学教育学会、初年次教育学会等所属。専門は高等教育開発。

【仲道雅輝】1995年日本福祉大学社会福祉学部卒、2009年熊本大学社会文化科学研究科教授システム学専攻博士前期課程修了 修士(教授システム学)。2017年熊本大学社会文化科学研究科教授システム学専攻博士後期課程修了 博士(学術)。1995年より日本福祉大学職員、2011年から愛媛大学にてFD・SDや学生能力開発、授業改善・授業コンサルテーションなどの支援に取り組む。主な研究課題は、インストラクショナル・デザインを活用した教育改革に関する研究。(2008年度eLC認定e-Learning Professional、2014年度SDC認定)

主な著書には、ナカニシヤ出版の「大学におけるeラーニング活用実践集—大学における学習支援への挑戦2」(共著)、「大学初年次における日本語教育の実践—大学における学習支援への挑戦3」(編著)、さくら社出版の「教育評価との付き合い方—これからの教師のために」(共著)など。

【塩川奈々美】徳島大学大学院総合科学教育部地域科学専攻地域創生分野博士後期課程修了。博士(学術)。専門は日本語学および方言学。2018年に徳島大学総合教育研究センター(現:高等教育研究センター)教育改革推進部門特任助教を経て、2020年4月より現職。同センター教育改革推進部門(兼任)。FD担当として徳島大学における全学FDプログラムの企画・運営・調査研究に携わり、支援業務に取り組むほか、学生アンケートや教員アンケートなどの教学アンケートにおける自由記述についてテキストマイニングを活用した質的分析に取り組む。

【上月翔太】専門は高等教育論、文芸学。日本学術振興会特別研究員(DC2)、大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻助教などを経て2020年より現職。FDをはじめとした諸活動の企画や実施に加え、大学における人文学、芸術教育、カリキュラム編成について調査研究も行っている。著作に『大学教育と学生支援』(分担執筆)、『学習支援Q&A』(分担執筆)、『カリキュラムの編成』(分担執筆)など。

プログラム概要

近年、FDは教学マネジメントを支える基盤として位置づけられ、授業改善にとどまらず、カリキュラム改善や組織改善も含め、高等教育機関の教育開発に寄与することが求められています。また、オンラインによるFD研修や、研修やセミナーの形式とは異なるFD活動も拡大しています。

本プログラムでは、前半は講師よりFDの概要を解説し、FDの事例やFDを企画する際の手順や運営上の留意点を紹介します。後半は、参加者が自身の所属する高等教育機関または学部等のFDニーズを整理し、FDの企画案を作成します。続いて、ブレイクアウトルームを活用して、参加者同士で共有及び意見交換を行いながら企画案をブラッシュアップします。

個人ワークやグループでの意見交換に対して積極的に参加し、FD担当者同士のコミュニティづくりにつながることを期待しています。

準備物・事前課題

FDの企画を行う自組織のFDニーズや課題を挙げておく。

主な受講対象者

FDについて学び、自組織のFDの企画案を作成したいFD担当者

到達目標

1. FDが求められる背景・政策・取組について説明できる。
2. FDを企画する際の順序や留意点を説明することができる。
3. FDの企画立案ができる。

日時

8月24日（水）9時30分～14時30分